

会派視察・研修報告書

会派名 公明党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 ち	令和 3年 4月 26日 (月) 10:00~13:00、14:00~17:00
2 視 察 先 研修名 主催者 会場	「特別支援学校 BCP と地域連携」 講師：湯井（ぬくい）恵美子氏 地方議会総合研究所 自宅でオンライン研修
3 参 加 者	片山 竜美
4 調査・研修のテーマ	① 障がい児者と災害についての基礎知識 ② 要支援者支援のあり方について
5 主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児者の福祉防災とは ・災害被災地での障がい児者の現実 ・特別支援学校は安全ではない?! ・福祉避難所とは ・福祉避難所運営シミュレーション ・多様な福祉避難所開設運営 ・特別支援学校と福祉避難所 ・特別支援学校と防災体制 ・特別支援学校と地区防災計画 ・災害時避難行動要支援者支援制度 ・個別の教育支援計画の活用 ・みんな元気になる福祉避難所
6 所感、提言事項、課題等	<p>【議員氏名】片山 竜美</p> <p>・避難とは「避難行動+避難生活」であるが、どちらが重要であるかを考えるところから始まった。講師曰く「避難生活」が重要であり、避難所で健やかな生活が保障されていなければ、とくに要支援者は避難したとらない」と。その根拠として、認知症の高齢者は、3日以上の避難生活では、その環境に適応しきれずに BPSD が発症し、それが原因となり、周囲とのトラブルが起き、家族も避難所にとどまれないというデータを示し、避難所の在り方の大切さを痛感した。</p> <p>・避難行動要支援者の避難所生活のためには、福祉避難所の充実が不可欠である。しかしながら、福祉避難所には、避難者を受け入れる準備や訓練がなされていない個所が多いのが現状である。</p> <p>・そこで、福祉施設、特別支援学校等の福祉 BCP（事業継続計画）の作成が重要である。その作成にあたっては、地域の協力が得られると、より安全に避難できる確率が上がってくると感じた。</p> <p>・本年3月に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が自治体の努力義務となった。議会でも提案した要支援者の福祉避難所への直接避難できる仕組みを早急に作り上げ、個別避難計画に反映することが重要であると感じた。</p> <p>・また、避難計画は、福祉専門職の方を交えながら、簡単で分かりやすいものを作り上げた方が有事の際に効果的であると感じた。</p> <p>・3月議会で提案した特別支援学校を該当児童生徒の避難場所として、整えていけるよう、これからも働きかけていきたい。</p> <p>・「地域防災計画を地域住民で作らせない、身ににならない」「マンネリでもいいので、体にしみこむまで訓練することが命を守ること」との講師の言葉に共感した。</p>

